

I. 平成30年度の実績

グループ名称	ふくおか長期優良住宅推進グループ				
H30採択グループ番号	07	—	0423	—	0701

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループ代表により、施工事業者に対してグリーン化事業の普及と活用を促すと共に住宅着工情報の早期把握に努めてきた。 長寿命・低炭素・性能向上における未活用施工事業者による本事業の活用促進のため、勉強会・サポート等を実施し活用を推進した。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/09/18	名称	グリーン化事業説明会及び勉強会		
	内容	(1)平成30年度グリーン化事業についての説明及び各申請様式の説明 (2)長期優良住宅や低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅の勉強会						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/09/16	名称	展示会		
	内容	展示会場にブースを設置して、施工事業者を主としてエンドユーザー様の動員を促し、本事業の説明をおこなった。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	内容							
	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/09	名称	ゼロ・エネルギー説明会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	(1)長期優良住宅・本事業の実務者向けや営業担当者向けの説明会・勉強会を開催した。 (2)エンドユーザー様に対して、長期優良住宅や低炭素住宅、本事業の説明会を行い、未経験施工事業者のバックアップ強化を図った。 認定等の取得が困難な場合はグループ事務局にてサポートをおこなった。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	1	発行予定	2
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	各施工事業者にて第三者機関を選定し、登録をする。	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	(1)引渡し後、施工業者の廃業等が発生した場合に備えて、お施主様にメンテナンスやリフォームの相談をグループのホームページを通し活用して頂いた。 (2)エンドユーザー(建築主)様に対して、引渡し終了後、グループより証明書を発行した。			
② H30年度における施工構成員の廃業	無			
対応内容				

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有			
内容	グループ代表により施工事業者に対して、より高性能な断熱材の提案をおこなった。			
省エネ化に対する取組 ②				
内容				
BELS工務店の登録数	3 社			

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	ふくおか長期優良住宅推進グループ				
H30採択グループ番号	07	—	0423	—	0701

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/18	名称	グリーン化事業説明会		
	内容	(1)平成31年度グリーン化事業についての説明及び各申請様式の説明 (2)長期優良住宅や低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅の勉強会						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/07	名称	展示会		
	内容	展示会場にブースを設置して、施工事業者を主としてエンドユーザー様の動員を促し、本事業の説明をおこなう予定。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/18	名称	勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	(1)長期優良住宅・本事業の実務者向けや営業担当者向けの説明会・勉強会をおこなう。 (2)エンドユーザーに対して、長期優良住宅や低炭素住宅、本事業の説明会を行い、未経験施工事業者のバックアップ強化をおこなう。 認定取得が困難な場合はグループ事務局にてサポートをおこなう。						
取組み ②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み ③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	各施工事業者にて第三者機関を選定し、登録をする。
------------	----------	-----	--------------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	(1)引渡し後、施工業者の廃業等が発生した場合に備えて、お施主様にメンテナンスやリフォームの相談をグループのホームページを通し活用して頂く様にする。 (2)エンドユーザー(建築主)様に対して、引渡し終了後、グループより証明書を発行する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	来年度の省CO2先導型LCCM部門(戸建住宅)に向けた勉強会等を実施する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	省エネ改修型の要件等についてと改修に使いやすい断熱材等の省エネ関連商材の提案をおこなう説明会を実施する。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/18				
内容	省エネ改修型の要件等についてと改修に使いやすい断熱材等の省エネ関連商材の提案をおこなう説明会を実施する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	ふくおか長期優良住宅推進グループ				
H30採択グループ番号	07	—	0423	—	0701

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	九州北部での住宅建築を提案している。九州北部の気候は夏は高温多湿で地域の気温差は小さく、冬は季節風を受けて比較的寒く地域の気温差が大きい。 九州は木材生産量も多く、スギ・ヒノキの素材生産量や木材の自給率も高い。 その為、省エネルギーと地産地消を意識して以下を順守していく。 (1)LOW-Eガラスを使用する。 (2)住宅版BELS☆3以上を取得する。 (3)高効率給湯器の標準仕様 (4)九州産木材をふんだんに使用する。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	(1)土台、柱(化粧柱・真壁除く)、梁・桁:合法木材 100% (2)主要構造材以外一大引、母屋、小屋束、筋違、間柱、垂木:合法木材 100% (3)可能な限り、主要構造材(柱(真壁及び化粧柱を除く)・梁・桁・土台)・主要構造材以外一大引、母屋、小屋束、筋違、間柱、垂木に九州産材使用する。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	有		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ代表により、施工事業者に対して住宅着工情報の早期収集をおこない、製材業者に在庫確保を実施している。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ代表が住設や建材等をメーカー協力の下に各施工事業者へ提案し、コスト削減を目指す。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ代表が受給状況を早期確認と供給状況の早期確認欠品等 — 情報を発信する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の施工標準図を基に施工する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通チェックシートにて定期点検を行う。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループで定めた共通チェックリストを基に、上棟後合法木材の確認及び竣工後に施工事業者がお施主様と共に検査を行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通見積書を使用してエンドユーザー様に提出を行う。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	(1)当該物件の引き渡し時に「住宅金融普及協会」発刊の『住まいの管理手帳—戸建編—』をエンドユーザー様に配布する。 (2)城東テクノ株式会社実施している「しるあり保証制度」に登録を推奨する。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	有	内容	全ての構成員が加入済みである。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	健康診断を呼びかける。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	ふくおか長期優良住宅推進グループ				
H30採択グループ番号	07	—	0423	—	0701

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

番号	有/無	内容
① 畳の活用	有	1枚/1棟以上活用する。
② 和瓦の活用	無	
③ 襖・障子の活用	無	
④ 地域の伝統的素材の活用	有	仕上材として、九州産材の無垢材を5㎡以上使用する。

B 地域の住文化に関する取組み

番号	有/無	内容
① 地域の伝統的なデザインの継承	有	太宰府市景観条例より以下を推奨する。 <屋根> ・色彩は周囲の山並みと調和した明度、彩度がともに低い黒系、茶系、鼠色系とし、金属板葺き屋根の場合は光沢の少ない落ち着いたものとする。
② 地域の住まい方の継承	有	節水の意識を継承する為に、雨水タンクを推奨する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	各地域で「景観に関する条例」等が定められている場合は、遵守する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
震災被災地支援の一環として、被災地の「ふるさと納税」をエンドユーザー様・グループ構成員へ呼びかける。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
熊本地震で被害を受けた熊本や大分の木材をふんだんに使用する。